松ケ崎小学校・米ノ庄小学校学校活性化協議会
第２回総務部会　議事録(要点筆記)

日時：令和７年２月13日（木）　15:00～16:55
場所：松阪公民館　講座室５
出席者：
【委員】◎山本均　刀根旭　大西常夫　〇北川雅樹　伊藤広美　梅田甚兵衛　正木悦美　小林千加子
大瀧剛　楠本誠　（◎部会長　〇副部会長）
【教育委員会】教育総務課　学校活性化推進室主幹　清水尚美
教育総務課　学校活性化推進室主任　地主博一
学校マネジメントコーディネーター　田中伸之

１　あいさつ

部会長
　本日は、校名の選定について、よろしくお願いしたい。

公開について

部会長
　本日の協議会は、「公開」で進める。
（異議なし）

２．協議事項

（１）学校名候補の選定について

説明：事務局　（資料１）“新しい小学校”の名前募集結果について
（資料１-１）学校名一覧
（資料１-２）学校名およびその理由一覧

部会長
　事前に資料に目を通していただいたと思う。資料に対するご意見、ご質問はないか。

学校長
　（資料１-１）学校名一覧について、複数件応募があった校名の地域別の内訳を教えてほしい。

事務局
　複数応募は多いものから、米ノ庄122件、三渡20件、米松17件、米ノ松12件、三雲南10件、米崎7件です。

部会長
　これらも参考にし、新しい校名について３～５点程度候補を選んでいただく。
　第１回総務部会で議論をし、最終的に全員で異議なしと確認した点もある。校名を記述式で募集し、たくさんの方に考えていただいて 58 点の校名が応募された。その中から校名候補を選んでいきたい。

説明：事務局　資料「“新しい小学校”の名前の選定について」（資料２）

委員
　公募なので投票数が多いものが選ばれるわけではない。投票ではなく話し合いで、できれば全員が一致して３～５点あげられたら良いと思う。

部会長
　意見交換しながらという提案であったが、事務局どうか。

事務局
　決め方については、まずは委員の皆さんに投票していただいてから協議をしていただくか、或いはまず議論をしていただいて決まらなければ投票をするかなど、事務局でも検討させていただきました。
　先に協議をする形になりますと、それぞれの方がふさわしいと考えていただいている校名を言いにくいようなことがあるといけませんので、まずは無記名で投票していただき、その票数も踏まえて協議していただくのが良いのではないかと考え提案しました。
　もちろん、投票せず協議で決めていただく方法でも構いません。

部会長
　誰が何に投票したかが分からない形で進める。協議して決めていくことは民主的ではあるが、発言しにくい方もみえるかもしれない。
　どのような進め方が良いか。

委員
　公募する際には、その思いや理由も重視するということであった。委員個人の思いではなく、住民の思いを通した形で総合的に判断する必要がある。
　応募された理由を読んで、自分の考えが変わった部分もある。「公募をする以上は、結果の公表を含めて、多数の意見を尊重することが民主主義の原則である。」という意見があったように、我々には説明責任がある。
　両地区が納得できる形でないと、統合校の学校生活に支障が生じてはいけない。話し合いを通して、納得できる形が必要だと思う。

部会長
　今日決定せずに、応募結果を提示して、それに対する地域の皆さんの意見を聞いた上で決めていくということか。

委員
　この部屋の中で決めるのではなく、公募したからには公開しないといけないと思う。選ぶ前に皆さんに提示してから、選定する必要があると思う。

委員
　応募の思いや理由も全部読ませていただいた。
　それぞれの地域の思いがある。票として米ノ庄が一番多いが、票数が１件の校名にも重みがあると思う。半数以上の方が「名前を変えても良い」という視点で、様々な校名を考えていただいていることがすごいと思う。
　例えば「三渡」が入っている校名、「三雲」が入っている校名といった、名前の似たものを一つに捉えて考えていくのも、一つの方法だと思う。「三雲」「三雲南」「三雲第一」などあるが、「三雲」が入っている校名は全部で 17 票ある。

部会長
　前回の総務部会で選定方法について協議して、第一段階として総務部会でいくつかの校名候補を選んで、最終的に協議会で選定していく流れが決まったのではなかったか。

事務局
　資料２の選定方法については、第１回の総務部会でご確認いただいた内容です。協議の中でご意見をいただいた部分を修正した上で、今回の資料として提示させていただきました。選定方法については前回の協議の中では特にご意見はなかったところですが、校名候補の選定という非常に大きい大切なことではありますので、委員の皆さまの納得いただく方法で選定いただければと思います。

部会長
　応募された校名を全て提示して地域の方に選んでいただくのか、総務部会として選ばせていただくのか。ただ、これまでの協議で確認されている流れも大切にしていきたい。校名決定は大変重要な案件である。
　参考に、先行している東部中学校区がどのように選定したのか教えてほしい。

事務局
説明：事務局
・応募用紙の２つの選択肢（東部北・東部南、大平・飯野）が応募数も多く、最終候補であることを総務部会で確認した。その後、提案された校名案の中から総務部会委員による投票を行い、その結果も踏まえて協議し、さらに３つの最終候補を選出した。
・結果的に、総務部会として５つの最終候補を選定し、それを協議会に上げる形となった。

委員
　教育長が校名決定のタイムリミットを２月と言ってみえた。会議日程が遅くなるのを心配していたが、今日になった。
　２月には校名を決定していく必要があるということであれば、この会議で各委員が３つ選んだ校名と

その理由を発表していく方が、スピーディーに進んでいくのではないか。
　ただ、我々はそれぞれの校名案にある背景を知っておく必要があると思う。例えば、「三渡」は、昭和 21 年に三渡中学校ができたが、３年間は松ケ崎小学校を間借りしていたので、昭和８年生まれの人はほとんどを松ケ崎小学校で過ごした。昭和 41 年に最後の１年生が入学し、昭和 29 年生まれからは三雲中学校に入学することとなった。歴史のある校舎に感じるが、三渡中学校があった期間は 20 年しかない。そういった歴史的なことを知らずに、三渡中学校を卒業したから「三渡」と書いている人もいる。
　「米ノ庄小学校も児童が減ってきて、そのうち天白小学校と統合になる。」と言われる方がみえる。将来的に統合することになれば、「三雲南・三雲北小学校」になり、さらに「三雲小学校」となっていくかもしれない。日本全体で少子化が進んでいるが、三雲地域は入居希望が多い地域なので、一概に言えない部分がある。土地が開かれれば、中川小学校区のように急激に増加する可能性もある。
　我々もそのような知識を持って選ばないと、「こうして決めました。」と言えないのではないか。だから、私が知っていることは、ここでお伝えさせていただく。腹を割って話をしないと、匿名の投票では時間がかかると思う。

部会長
　応募していただいた方々の思いも尊重していく必要がある。校名候補を選んだ上で、肉付けしていくのがスムーズではないか。校名候補の選定は総務部会に付託されていることなので、総務部会としての候補を選んで、協議会に上げていけるように、きちんと説明ができるようにしていく必要がある。
　事務局から提案があったように、誰がどれを選んだか分からない方が、本音で選択できる部分があるのではないか。お互いが尊重し合いながら、一人５つずつ選んではどうか。５つ選んだ結果をみて意見交換をしてはどうか。

委員
　この場でお互いに腹を割って、それぞれが３つずつ意見を出すことはできないか。その上で協議をしていけば、候補が絞られるのではないか。それをまとめて次の段階へ進んでいかないと間に合わない。

部会長
　それでは、QR コードで投票するか、投票せずに意見交換して協議で決めるか、どちらが良いか。

委員
　多数決を取りましょう。
（QR コード４人／意見交換６人）

部会長
　それでは、一人３点ずつ選んでもらうのでよいか。
（賛成多数）

部会長
　それでは、一人３点ずつ思いや理由も含めて発表してもらう。

（各委員発表）

委員
　「米松」付随するたくさんの校名もあるのでそれも含める。
　「三渡」三渡の名前が含まれた他の案も含める。
　「三雲」そのままでは中学校と一緒なので「南」「西」「第一」などを付ける。

委員
　「米ノ庄」応募数が多いものをひっくり返すことはできない。
　「三渡」　以前米ノ庄も松ケ崎も通った中学校名に由来する。
　「三雲」　将来的には１つになる可能性もあることから。

委員
　「三渡」
　「三雲」
　「米ノ庄」応募数が多いことから。

委員
　一人一人の思いもあるが、件数の多い３つの校名を選ぶ。
　「米ノ庄」
　「三渡」
　「米松」

委員
　「三雲」　三雲という名称がついているものを含める。
　「三渡」　三渡という名称がついているものを含める。
　理由は新しい名前を考えるということを思っていた。これから先にさらに統合していくことが目に見えている状況の中で、広い目で見て、これから子どもたちが受けついでいける名前がよいと思い、「三雲」を選んだ。
　三渡は家族が卒業している学校名であり、地域の思いもある。「松ヶ崎」を残したいという地域の思いはあるが外した。子どもたちのこと、地域のことを大事に考えた時に、「三雲」と「三渡」の２つを選んだ。

委員
　「米ノ庄」　松ヶ崎は地名でも駅名でも永久に残る。しかし米ノ庄は地名にはなく、小学校名だけしかない。応募された中で、「松ヶ崎小は閉校しても建物がなくなる訳ではない。ひなん所とかで『旧松ヶ崎小』となるのではないか。それなら米ノ庄の名前をとりあげなくてもいいのでは。」という理由が心に響いた。
　「三雲南」　三雲中学校区の小学校だから。
　「米之崎」　融合した名前。「米崎」と迷ったが、「米之崎」の方が言いやすい。

学校長

「三雲南」三雲中学校区のこれからことを考えて。

「三渡」　両校に共通する名称。

「米ノ庄」応募件数の全体の 48%が集まっており、それだけの思いもあることから。

学校長

個人的な意見はあるが代表としての意見である点、これまでの議論の経過、応募された校名のそれぞれの地域での立ち位置による比率、という視点から３つ選んだ。比率は全体の応募数から松ヶ崎１と米ノ庄４の割合をもとに算出した。

「三渡」　対等統合という視点でみていく。

「三雲」　内容の議論から。

「米ノ庄」投票数の多いものについての議論が前回出されていることから。

委員

「米ノ庄」大学でも地名から学校名がついている。それぞれの地域の中にある学校は地域の名前が付いていた。今回統合の話が出てきて、片方の名前が残って片方の名前がなくなることの感情も十分考えられるが、米ノ庄地域内にある学校なので、その地名をとって、“新しい小学校”としての米ノ庄小学校でよいのではないか、と考えた。仮に今後さらに統合が進んでいけば、「三雲南」「三雲」という名称にしていけばよいのではないか。

「米松」「米崎」　松ケ崎と米ノ庄がうまくいくように、両方の名前を取った名称。両方に配慮した名称であることから。

「三渡」　確かに三渡中学校はあったが、地理的に米ノ庄地区と三渡川が接しているのは実際には 200mぐらいしかないので、３番目で挙げた。

部会長

「三雲南」三雲中学校に進学すること、また、将来的に三雲地域でも小学校の再編が進んでいく可能性があることも聞いていることから。

「三渡」　松ケ崎小と米ノ庄小の両方の卒業生が三渡中学校に進学した。雲南と三渡が統合した時に三渡が無くなってさみしいという思いの方もいらっしゃったことから。

「米松」　２つの校名を融合した名称。対等統合であることから。

委員

私が言ったのは、“新しい学校”としての「米ノ庄」であることを言わせてもらいたい。

部会長

“新しい学校”の名前と理解されている方もみえるが、応募していただいた方々の理由からすると、そう思われない方もあったように思う。仮に「米ノ庄」として決まれば、新しい校名としての「米ノ庄」として地域に対しても周知していく必要がある。

部会長
　総務部会としての候補を選んでいきたいが、どのように決めていくか。

事務局
　委員の皆さまに出していただいた校名候補としては、種類として４種類あります。①２校の校名が融合したものとして「米松」など、②「三渡」の名称が含まれるもの、③「三雲」の名称が含まれるもの、④応募の中で最も件数の多い「米ノ庄」。
　例えば総務部会としては４種類を候補として出していただき、協議会でその中の１種類を選んで、さらにその中で１つを選ぶという方法もあるかと思います。協議会では最終的に１つ校名を選んでいただく必要はありますが、総務部会では種類を選んでいただくことも可能かと思います。

部会長
　候補として４種類を協議会に上げて、その種類の中にあがっているいくつかの校名を協議会の委員にみてもらう必要がある。例えば「三渡」でも「三渡」「みわたり」「三渡南」「三渡口」の４候補がある。類似した校名も含めて事務局で表にして、それらを含めた候補として協議会に上げていくということでどうか。

委員
　総務部会から候補として「米松」「三渡」「三雲」「米ノ庄」の４種類をあげて、協議会でどれか１種類に決めてから、さらにその中から校名を決めていけばよいのではないか。

部会長
　総務部会として、ただいま提案があった形で協議会に上げていくことでよいか。
　（全員賛成）

委員
　一つ大事なことは、民意があるので、選ばなかった理由をはっきりしないといけない。選ばなかった理由をきちんとしておかないと、一般の方に理解が得られない。次回の協議会では、選んだ理由と同時に、選ばなかった理由をはっきりさせることもポイントになる。総務部会では４種類選んだので、４種類それぞれの理由が必要になる。

部会長
　協議会においてしっかり突っ込んで議論していくということでよいか。
　総務部会としてまとめると、校名候補として「米松」「三渡」「三雲」「米ノ庄」の４種類を協議会にあげて、協議会でこのうち１種類に決めてから、さらにその中から校名を決めていく、校名については選んだ理由はもちろん、選ばなかった理由もしっかり議論していく、ということでよいか。
　しっかり議論することで、初めて地域の方に納得してもらえる。

委員
　協議会では部会長から総務部会としての４種類の候補とその理由を説明していただいて、校名決定後

に、選んだ理由と選ばなかった理由も付けていく流れでよいのではないか。

部会長
　４種類の候補とただいまの流れでよいか。
　（全員賛成）

委員
　総務部会で４種類の候補が決まったが、応募のあった校名の一覧は市のホームページに公開されるのか。

事務局
　議事録と一緒に総務部会資料として公開しますが、校名に対する理由や思いは公開を前提に公募していないため公開しません。応募のあった校名の一覧のみを公開します。

委員
　校歌のフレーズのことを以前提案したと思うが、３月にできるか。

部会長
　前回の総務部会で子どもたちに校歌を作成させるという話が出ていた。両地区の特色を入れたフレーズを総務部会として出して、それを参考に子どもたちが校歌を作成するという提案があった。

委員
　個人的なことだが、４月の総会で住民自治協議会の代表を降りるので、総務部会委員も降りる。私が考えたフレーズは学校に渡しておく。学校もフレーズをもらっても子どもたちは時間がかかるし、先生にも負担になる。なるべく時間の余裕を持った方が良い。

部会長
　校歌と同時に校章も総務部会の検討事項になっている。学校としては早い方がよいだろう。

委員
　例えば「心を磨く学び舎に」とか、歴史や城跡とか潮の香とか、そういう感じのものを出し合って、少しでも総務部会での責任を果たしてはどうか、という提案だった。自分なりにいくつか考えてあるが、３月中に難しいようであれば学校へ提出するので、後の部会でお願いしたい。

事務局
　校名が決まってから、校章、校歌へと進む予定です。校名が決まるのが３月になってしまいます。その後、校歌の作成方法も含めて総務部会で協議していくことを考えております。

部会長
　校章、校歌は同時進行でよいのか。

事務局

　校章、校歌には校名の意味や選ばれた理由等が含まれるため、校名が決まってから取り掛かることになります。同時進行で行けると良いのですが、校章、校歌の順で進めていくことになると思います。

委員

　校章も松ケ崎と米ノ庄の校章をくっつけて作ることもできる。